

## 予 算 決 算 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成30年12月19日（水）

午後 13 時 29 分 開会 午後 13 時 40 分 閉会

2. 場 所 全員協議会室

3. 出席委員 【予算決算常任委員会】

灰田昌典委員長、宮西健吉副委員長、南藤陽一委員、井田秀喜委員、木下裕介委員、新田寛之委員、吉村範明委員、浅村起嘉委員、梅田利和委員、吉本慎太郎委員、高野哲郎委員、片山瞬次郎委員、出戸清克委員、二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員、橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員、北出隆一委員、杉林憲治委員

4. 欠席委員 なし

5. 委員会の議題

議案第77号 平成30年度小松市一般会計補正予算（第4号）

議案第78号 平成30年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

議案第79号 平成30年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）

議案第80号 平成30年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第81号 平成30年度小松市水道事業会計補正予算（第1号）

議案第82号 平成30年度小松市下水道事業会計補正予算（第2号）

6. 委員長報告の要旨

予算決算常任委員会における審査の経過並びに結果について御報告申し上げます。当委員会に付託されました案件は、議案第77号から議案第82号までの6件についてであります。

これらの案件につきましては、12月17日に各分科会を開催し、詳細な審査を行いました。これを受け、委員会は12月19日に会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。分科会委員長報告の主な内容を申し上げます。

### ■議案第77号 平成30年度小松市一般会計補正予算（第4号）について

県議会議員選挙費については、統一地方選挙の日程が当初の想定より早まったため、年度内に執行すべき事務の増加によるものです。選挙権年齢の引き下げに対応して、公立小松大学と連携し、10月の大学祭での「選挙啓発ブース」の出展、来年1月には「選挙に関するワークショップ」を開催予定であります。また県と連携し高等学校で模擬投票を行うなど、投票に関し啓発に努めているとのことですが、投票率向上のため、さらに投票しやすい環境づくりに努めるよう求める意見が出されました。

### ■3D-CAD活用推進費について

建設業界において生産性の向上と働き方改革が喫緊の課題であり、情報共有システムの活用と電子納品適用工事の拡大を2018年10月から試行し、2019年4月からの本格実施にあわせ、県内初となる地図情報システムの活用による電子データ保管システムの構築経費とのことであります。

一部の委員からは、情報共有システムによる電子納品の拡大は、作業効率の向上など有効な手段であるが、発注者側にも現場に応じた職員力の向上など人材育成を求める意見が出されました。

### ■障がい児給付費について

心身の成長や発達に心配のある就学前の子どもへ日常生活や集団生活をスムーズにするための支援を行う児童発達支援等の件数の増加に伴う増額補正であります。近年の相談・支援環境の向上により、利用者が増加していることから、今後とも利用しやすい環境づくりを進めるため、見込みに伴った予算を確保していくよう求める意見が出されました。

また、発達障がいへの支援のあり方については、今後とも関係部局と連携を図り、より良い支援を進めて行くよう求めました。

### ■小学校及び中学校校舎等改修費について

市内の小中学校各1校について空調設備の老朽化に伴う更新のため、増額補正及び債務負担行為の設定を行うものであります。児童生徒の学習環境の向上はもとより、個別空調方式への移行によるランニングコストの削減についても期待する意見が出されました。

### ■東京オリパラ推進費について

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催と市制80周年を記念したシンボルモニュメント制作のための調査設計費及び、トランポリン器具の整備費とのことであります。

シンボルモニュメントについては、何十年、何百年先も小松に相応しいと誰もが感じるデザインの検討を求める意見が出されました。また、トランポリン器具については、公式競技用トランポリンと補助マットが総合体育館に整備され練習環境がさらに充実することであり、事前合宿や全国大会等の誘致と地元選手の競技力向上・発展を期待する意見が出されました。

### ■労働雇用対策費について

学生の就職に対するニーズの変化に対応し、企業の情報がどこでもいつでも入手できるスマートフォンを活用した就職・移住支援アプリ「こまつくらし・しごとサポートアプリ」のシステム構築費等とのことであります。アプリをいかにダウンロードしてもらうかが課題であり、就職する世代が求めるニーズにマッチしたものとして活用されるように、学生、企業の声を聞きながら進めていくとともに、移住促進も図るよう求めました。

### ■里山活性化支援費について

里山地域で作られた酒米の増産要望に応えるため、酒米や製品の保管庫及び貯蔵タンクを整備するものであり、特別栽培米から酒米への切替による労働生産性及び単収アップによる農業所得の向上を期待するものであります。また、打木町のみょうこう柿の実証試験に対する支援も行うとのことであります。干し柿だけではなく柿の幅広い活用について研究を行うよう求めました。

### ■梯川ミズベリング整備費について

梯川の河川改修事業が国の直轄事業により整備が進められており、これらの水辺空間を活かして、スポーツや健康づくり、レクリエーションの場として多くの市民や来訪者に利用いただけるように、案内板や路面標示等を設置し、水辺リングコースとして整備するものであります。一部コースへの車両の進入があることから、歩行者の安全対策を講じるよう求めました。

なお、採決の結果、議案第78号から議案第82号までの以上5件は全会一致をもって、議案第77号は賛成多数をもって、いずれも原案どおり可決・承認すべきものと決した次第であります。